

令和2年度 水質事故概要（10～12月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
1	10月13日	柏尾川	平戸永谷川	港南区		○			港南土木事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では、油浮遊が消失していた。遡上調査不能で発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
2	10月14日	鶴見川	奈良川	青葉区			○		青葉土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で建設工事でのモルタルを含む廃液の流出が原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
3	10月20日	柏尾川	いたち川	栄区		○			横浜川崎治水事務所 栄消防署 栄土木事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では、油浮遊が消失していた。遡上調査不能で発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
4	10月22日	柏尾川	名瀬川	戸塚区			○		戸塚警察署 戸塚土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。水質検査でチタンが検出されたため、原因は白色顔料の可能性あり。	不明	
5	11月2日	帷子川	さちが丘地先水路	旭区			○		旭土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	水路が着色(赤褐色)しているとの通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で建設工事での作業中の汚水が原因と判明。生物被害なし。水質検査で鉄成分が検出されたため、着色の原因は赤サビ。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導

令和2年度 水質事故概要（10～12月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
6	11月5日	横浜港	本牧原地先水路	中区		○			本牧消防署 中土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	油浮遊・油臭の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で上流道路街きょ枘からの流出を確認したが、原因者特定には至らなかった。下流に油吸着材を設置。生物被害なし。水質検査で燃料油が検出された。	不明	
7	11月12日	その他の水域	鳥浜町先雨水管	金沢区			○		金沢土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	異臭の通報あり。現地調査では、雨水管人孔内で異臭を確認した。遡上調査で事業所内の污水管破損による流出が原因と判明。生物被害なし。水質検査で規制基準を超過した汚濁物質が確認された。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
8	11月14日	鶴見川	せせらぎ緑道	青葉区			○		青葉警察署 青葉土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査をしたが、既に流入はなく発生源を特定できなかった。生物被害なし。簡易水質検査を行ったところ、有害物質等は検出されなかった。	不明	
9	11月16日	境川	和泉川	泉区			○		泉土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では、白濁が薄くなっていた。遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
10	11月16日	本牧根岸沖	北台川	金沢区		○			海上保安庁 金沢消防署 金沢警察署 金沢土木事務所 水・土壌環境課	事業者により油流出を確認。事業所内の灯油タンク洗浄水漏れが原因。金沢土木事務所の指導に基づき、下流に油吸着材を設置。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導

令和2年度 水質事故概要（10～12月）

No.	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等	
	発生日	水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等					そ の 他
11	11月25日	帷子川	峰沢町先水路	保土ヶ谷区		○			保土ヶ谷土木事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。下流に油吸着材を設置。生物被害なし。簡易水質検査を行ったところ、有害物質等は検出されなかった。	不明	
12	11月27日	本牧根岸沖		中区		○			港湾局保全管理課 水・土壌環境課	魚浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。腐敗したコノシロ約10匹の被害。原因不明。	不明	
13	11月27日	その他の水域	鳥浜町先雨水管	金沢区		○			金沢土木事務所 金沢警察署 金沢消防署 環境科学研究所 水・土壌環境課	異臭の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。雨水管人孔内では油膜も確認した。遡上調査を実施したが、既に流入跡等はなく、原因を特定できなかった。生物被害なし。水質検査で臭気のある化学物質が検出されたが、異臭の原因の特定には至らなかった。	不明	
14	11月28日	入江川	第二派川	神奈川区		○			海上保安庁 神奈川警察署 神奈川消防署 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で工場跡地に保管されたドラム缶が発生源と判明。生物被害なし。	判明	再発防止を指導
15	12月3日	鶴見川	砂田川	神奈川区		○			神奈川土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で事業所内の污水管破損による流出が原因と判明。生物被害なし。水質検査で規制基準を超過した汚濁物質が検出された。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導

令和2年度 水質事故概要（10～12月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
16	12月4日	柏尾川	川上川	戸塚区			○		戸塚土木事務所 水・土壌環境課	戸塚土木事務所の現地調査により白濁を発見。遡上調査で建設工事でのモルタルを含む廃液の流出が原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
17	12月10日	宮川		金沢区		○			金沢土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	油浮遊・魚浮遊の通報あり。現地調査では、通報と異なり、油浮遊は確認できたが、魚浮遊は確認できなかった。遡上調査を実施したところ、遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。下流に油吸着材を設置。生物被害なし。水質検査を実施したところ、有害物質等は検出されなかった。	不明	
18	12月13日	境川	和泉川	瀬谷区			○		瀬谷土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では、痕跡を確認。遡上調査を実施したが、既に流入跡等はなく発生源を特定できなかった。生物被害なし。水質検査で界面活性剤が検出されたため、原因は洗剤の可能性あり。	不明	
19	12月16日	帷子川		旭区			○		旭土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
20	12月24日	帷子川		保土ヶ谷区		○			保土ヶ谷土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で解体工事での重機燃料漏れが原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導

令和2年度 水質事故概要（10～12月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
21	12月24日	柏尾川	関谷川	栄区 戸塚区		○			栄消防署 栄警察署 栄土木事務所 戸塚土木事務所	油浮遊・油臭の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。既に周囲は暗く遡上調査不能であり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
22	12月29日	柏尾川	いたち川	栄区		○			栄土木事務所 栄警察署・栄消防署 横浜川崎治水事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では、油浮遊が薄くなっていた。既に周囲は暗く遡上調査不能であり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	